

総括質疑

平木ひろみ議員(中央区)

1. 都心・三宮駅周辺地区再整備構想の推進体制

Q 構想実現に向けては、スピード感を持って全庁横断的な推進体制を早急にするべきではないか？

A 市長がトップとなる推進体制を11月にも立ち上げ、関係各局が方向性を共有し、連携しながら進めていく。



2. 文化創生都市としての品格を備えた神戸文化ホール

Q 神戸文化ホールは築後42年を経過し、老朽化に対応するためリニューアル・建替えが検討されている、文化創生都市としての品格のある都心の整備が必要だと思うが、思い切って公的施設と文化的施設を併せた魅力的な拠点を三宮周辺地区再整備構想に組み込んで整備を検討してはどうか？

A 近隣都市でも新しい施設が整備されてきているうちに、政令指定都市の基幹ホールとしては課題が多い。ホールの設備更新が必要だが、建替えには多額の費用を要するので、慎重に多面的に検討していく。

3. 土砂災害警戒区域の見直し

Q 有識者の先生方との連携を取り、土砂災害危険地帯の検証と効果の高い防災対策を進めてはどうか？

A 実際の被害状況の検証結果をもとに県とも調整する。有識者からは会議、あるいは個別に意見を伺いたい。

4. 小型無人機ドローンの活用

Q 災害被害状況調査や情報収集に有効なドローンを神戸市も導入し、災害対策に活用すべきではないか？

A 関西でも導入した自治体もあるが、民間のNPOとの協力の可能性を含め、導入可能性を研究したい。

5. 国際的人材育成

Q 「真の国際都市」推進のためには、姉妹都市等との職員相

互派遣や、民間企業への人材派遣を進めることを視野に入れ、国際的視野を広げる職員研修プログラムを継続して行い、国際的人材を育成していくべきではないか？

A 市長就任後、国際的人材育成に力を入れてきた。英語だけの政策討議も回数を重ね、庁内での人材発掘にもなった。研修は充実させ、各部署の意見も聞きながら派遣も拡充する方向で進めたい。

一般質問

川内きよなお議員(垂水区)

運動会における組体操について

Q 運動会における組体操は、生徒はもちろんのこと、保護者や周りの観客も大いに感動する運動会のファイナルを飾るのにふさわしいプログラムである。

ただ、美しいバラには鋭い棘があるように、大変危険の伴うものであることも否定できない。昨今、本番や練習中に生徒が怪我をする事故が多く発生している。

組体操については、十人十色で様々な意見があるが、現在の教育委員会の考え方や、この件に関して今後どういった議論を進めていくつもりか見解を伺いたい。

また、いかなる場合においても生徒が怪我をするという事態が生じないよう、生徒の安全を最優先に考え、安全確保に対する教職員の意識の徹底に向けた取り組みを進めるべきと考える。また、組体操実施にあたっては、安全対策に向けてのマニュアル作りが必要ではないか。見解を伺いたい。

A 神戸市立の小中学校では、過度な高さの実体はないが、安全対策については色々指摘されている。校長会でも注意を呼びかけているが、ご指摘のように指導のポイントや予防策をまとめたマニュアルなども早急に作成していきたい。とにかく生徒の安全を最優先に考えた組体操に取り組んでいきたい。



決算特別委員会

各会計の決算及び関連議案は、総合的・一元的に一つの委員会で審査することが適切であるとの考えから、3つの分科会を設けて、審査を行っています。

第1分科会



藤原武光(垂水区)



人見誠(北区)



永江一之(灘区)

第2分科会



理事
平木ひろみ(中央区)



川内きよなお(垂水区)



川原田弘子(垂水区)

第3分科会



池田りんたろう(北区)



大井としひろ(須磨区)



岩田よしあき(西区)